

平成 19 年度第 9 回上田城南地域協議会会議録

日 時 平成 20 年 1 月 16 日（水） 午前 9 時 30 分～午後 2 時

場 所 上田市城南公民館 2 階大ホール

出席委員 石黒委員、石坂委員、木内委員、竹内順一委員、竹内秀夫委員、竹田委員、
田中明委員、土屋委員、中澤委員、中村委員、西川朋子委員、西川良幸委員、
宮崎委員

市側出席 古川まちづくり協働課地域振興政策幹、小宮山まちづくり協働課課長補佐
唐沢城南公民館次長

1 開 会（古川地域振興政策幹）

2 会長あいさつ（田中会長）

前回 4 分科会からそれぞれ意見を提出していただきました。今日は、各分科会から最終的な意見について発表いただき、それに対するそれぞれのお立場で、委員全員の皆さんからご意見をいただきながら、市長に提出する意見書のまとめに向けた作業を行いたいと考えております。

3 会議事項

(1) 各分科会の意見書に向けた審議

（田中会長）

会議に入ります。まちづくりの方針 7 項目について、4 つの分科会で、今日まで調査、研究を進めてきたところでございます。皆さんからまとめの内容を提出いただきました。年末に皆さんのお手元にお送りしたわけですが、それに基づいて会議を進めてまいりたいと思います。

城南地域協議会としての考え方ですが、我々は 4 つの分科会を持っております。4 つの分科会が、それぞれ複数項目を挙げております。その説明が、本で行われるわけですが、これをどのようにまとめていくかということです。

それぞれの分科会から、例えば最終的に 1 項目ずつ集約するとすれば、4 つ出てまいります。分科会から出た意見を意見書としてまとめるという方法もありましょう。もう一つは、絞りあげて一分科会一つ、あるいは 1、2 の分科会、3、4 の分科会の内容を集約してそれぞれ一つにする、あるいは全体一つという選択もあろうし、協議が十分時間的に出来ないのであれば、次期委員の皆さんに委ねるといってもあろうかと思っております。その辺のことは議論の中からまとめていくことになろうかと思っております。ご協議をお願いしたいと思います。

それでは第 1 分科会から発表をお願いします。

(中村委員)

まずこの地域まちづくり拠点として、城南公民館の新設が一番であろうと思っております。城下、川辺泉田自治連と共に進めていこうとするものです。主な理由といたしましては、城南地域は人口が 2 万 8 千人、戸数が 1 万 1 千戸で、丸子地域に匹敵するだけの人口、戸数があるということから考えまして、早期に建設を進め、子どもまで含めた大きな構想で進めてもらいたいというのが希望であります。

建設は、塩田、川西、城南の順番で進めるというお話でございますが、これからの人口推移を考えることが非常に大切であります。農地転用申請の一番多い地区が、川辺、城下地区であります。月平均 4、5 件あるという状況です。これからの人口の増加が急速に進んでくると考えられます。そのようなことから、まず最初に城南公民館の建設に取り組んでいく必要があると考えます。できれば、川西の自治センターという大きな構想まで含めて進めていただければと思うところです。

今年に入りまして、城南公民館移転新築促進対策委員会の松山委員長とも懇談をいたしまして、市からある程度の回答をいただいたが、いつ実施するということが決定されていないことが一番問題であるとのことで、自治連も率先して要望していくことで、話を進めております。

2 つ目は、左岸地域に総合医療施設を建設、誘致したいということでもあります。長野病院があるわけですが、麻酔科が無い、産婦人科が無くなってしまおうという中で、心細い現在の状況にあることから、自治連へも申し上げ、農協からも話を上げていただくよう地域の医療の拠点づくりを進めていかなければならないと思うところでもあります。

(田中会長)

皆さんそれぞれのお立場で、ご意見をお出してください。

(竹内秀夫委員)

第 2 分科会で、道と川の駅、防災拠点づくりについて検討を重ねている中で、どういう形が防災拠点として相応しいのかについて議論した。防災拠点は、備品のある倉庫があれば、防災拠点と言えるのかという疑問が出て、例えば公民館機能を併せ持っている、本当の防災拠点として利用できる。そこから指令を出す機能、非難してくる市民を受け入れる機能等を持つことができ、何よりも駐車場が広く取れるので、そのスペースを利用できる。更にヘリポートの整備が念頭にある。城南公民館と複合的な施設という形で建設できると、理想的な姿になるのではないかという話が出ている。第 1、第 2 分科会で絡められないものか。

総合病院建設については、個人的な意見だが、やはり長野病院が今の状況の中で、左岸に総合病院の建設を要望していくという社会状況ではないと思っている。右岸については、長野病院の充実を、左岸は川西病院等の充実を図る方向をまず考えるべきではないかという気がしております。

(竹内順一委員)

城南公民館は、高台の方に候補地があると聞いた。実際用地を新たに買うよりも、用意されている道と川の駅の場所を利用すると、広い駐車場が確保できる。公園も非常時には、駐車場に利用できる。これを活用しない手はないと思う。

病院問題に関しては、実際産婦人科を存続させる方が難しい。この問題は次の任期の方々に継続検討をしていただいたらどうかと思う。

(木内委員)

城南公民館の新築については、全面的に協力していきたい。

病院問題に関して、左岸に総合病院という意見に反対ではない。しかし、私個人の意見だが、長野病院で異常分娩が多いと聞いており、どうしても麻酔の先生がいないと手術ができないので、長野病院、産院双方で話し合ってください、一番いい方法を検討いただきたい。

(石坂委員)

道と川の駅の場所に公民館建設ということですが、国と市との絡みの問題が大きくなってしまい、話が進んでいかないのではないかとと思うが、そういったことが可能なのかお聞きしたい。

(竹内秀夫委員)

国が整備する部分と市が整備する部分は、はっきり分かれている。現在川の駅は、整備が済んでおり、これから道の駅の建設を進めるという状況にある。国が整備する部分は、トイレ、情報発信施設、防災備蓄倉庫で、地域振興に関わる部分については上田市が整備することになっており、予算は4千万程度と聞いている。市が整備する施設をもう少し複合的なものにできるのではないかと考えている。実際道の駅に関しては、今年度完成するくらいのスピードで進んでおり、複合的な施設を検討しましょうということになると、逆に道の駅の地域振興施設が進まなくなってしまうことになる。

(中村委員)

道の駅、川の駅は、どの自治体で整備するにしても、国から出る予算は1億と聞いている。城南地域の自治会長さん方の心配するところは、水害の問題であり、現在でも六ヶ村堰の元を止めても溢れてしまうという状況である。大雨になった場合には、道と川の駅の場所に水がつくと思う。

もう一つは、道の駅、川の駅をどういう構成で運営していくかということである。売店等を考えているのかどうか。この中には農協が関わらないことになっているが、どう考えておられるのか。

(竹内順一委員)

レベル的な問題は、我々も実際現地へ行って確認してきたところであるが、県営球場よりも高いレベルになると思う。現地へ通じる幹線道路が整備される。災害が起きた時には、幹線を進めば必ず道の駅、川の駅へ到着することから、あの場所に防災施設を整

備することになった。併せて公民館を整備していくことで、地域からこういうものにしたらどうかという提言をしていけば、それなりの回答がもらえると思う。

販売の関係については、農協に頼るという考えではなく、地元の有志が使える場所という目線で考えていったらどうかというところで、農協等の団体名は挙げていない。

(中村委員)

農協には話がないので、進捗状況が見えないと言っている。私個人としては、そういう団体を巻き込んで進めていくのもいいと思う。更に上田原古戦場まつりを含め、イベントの拠点としての利用も検討して欲しい。

(竹内順一委員)

公民館を併設し、災害時の防災施設として対応でき、また歴史的な面も生かしながら、里山を活用した拠点として、城南地域の住民が集える場所にしていければいいと思う。

(田中会長)

こういう議論は大事であるが、4つの分科会からそれぞれ意見を聞いた上で、皆さんの意見をすべて反映させていきたい。そして、その中からいくつを選ぶかを検討していきたい。

(小宮山まちづくり協働課課長補佐)

4つの分科会から説明を受けた中で、全体としてどれを今のタイミングで出すのがいいのか、という判断をしていただければいいと思う。

(西川良幸委員)

一つの分科会の発表の後、意見を出すのではなく、4分科会すべての意見発表をした中で、トータルで意見交換をした方がいいと思う。それぞれの分科会は当然絡む要素があり、全ての発表の後、協議会として何を優先順位にするのかを決めていく方が、スムーズに進むのではないかな。

(田中会長)

それでは、分科会としての統一した意見を第2分科会から第4分科会まで発表をお願いします。

(竹内秀夫委員)

第2分科会では、上田道と川の駅を活用した地域振興と地域防災拠点づくりについて、話し合いを進めてきました。

道と川の駅については、平成6年ころから検討が進められ、川の駅は平成14年3月に完成し、供用が開始された。すべての団体が最初から関わっていたわけではなく、いくつかの団体が中心となって、道と川の駅について検討を重ね、川の駅が実現した。既存の団体と城南地域協議会が協力して進めないといけないのではないかと考えている。協議会として、いっしょにまちづくりを進めていくということになると、既存の団体と会合を持っていけばよいが、協議会は協議会として独立したものということになると、協議会としての方針を出していただくという考え方もあると思う。まずは協議会としての

方針を出しておくべきではないかと思う。複合施設ということで話が進んだ場合には、既存の団体と協調しながら、話し合いに参加して、道と川の駅をつくりあげていくことも考えられると思う。協議会としては、方針の部分で留めておけばいいのかなと考えている。

国土交通省の整備するのは、トイレ、情報提供施設、休憩所、防災備蓄倉庫である。上田市が整備する地域振興施設があり、協議会としては、建物について関係機関から依頼がない限りは、あまり言及しないでおこうということです。ソフト面の提案を主にしていってらどうかと思います。建物については、複合施設もあるのではないですか、という程度に留めておきたいと思う。

分科会の提案としては、建物の利活用についての検討という部分があるが、既存の団体と連携を図り進めていく、農協も関わってくるかと思いますが、地元の特産の構築と提供、城南公民館との複合施設もあるのではないですかということです。城南地域の農業従事者、漁業者、飲食業者、その他商業者と連携して、単に地域の野菜を売るだけの地域振興の施設ではなく、もう少し複合的にいろいろなものが提供できるような施設を考えていってらどうかということです。情報受発信のための専門家との連携、周囲の景観へ配慮も必要だと思います。建物以外の敷地の利活用についての検討ということで、防災拠点という意味では、防災公園を国が進めており、ホームページにも掲載されているので、どんなものが考えられるのか検討していければと思います。城南公民館との連携ということで、イベントを企画するには、適当な場所であります。グラウンドがあり、芝生の広場があり、広い駐車場があるので、イベントで活用していく。新名所の構築ということで、野外ステージ、ドックラン、ドライビングシアターなどが考えられるのではないかと思います。最終的には、ソフト面を中心に提案していきたいということです。

(竹田委員)

第3分科会では、一つ目として、人にやさしい自然と整備ということで、別所線の利用促進、77号線から143号線の整備、それにまつわる南北道路の整備を挙げました。2つ目は、自然と里山の整備ということで、最近騒がれております限界集落を改善していくということから、須川の棚田、湖を生かし、塩田平を含めた観光に生かしていくことに取り組んでいってらどうかということです。長野大学の長野教授が限界集落の専門家ということで、多方面から協力を得ながら、産学官でモデルケースを進めていければと思います。

別所線の利用者が増加しておりますが、観光客によるところが大きいということで、風林火山も終了し、減少も見込まれるところですが、地元として電車の利用促進を図ることを考えていかなければならないと思っております。塩田地域協議会とも連携しながら、進めていかなければならないと思っております。

(宮崎委員)

第4分科会では、築45年の泉田保育園の早期新築、移転の促進、子育て支援、地域で子どもの安全と健全な成長を支えていく意味から、学童保育、放課後児童対策の充実について検討を進めてまいりました。

優先順位が一番が、泉田保育園の新築、移転ということで、建物の老朽化が進み、園児が長時間過ごす場所として、安全性に不安があるということで、地域で子どもを支えていく場としての重要性もありますので、是非新築、移転をお願いしたいというのが、私共分科会の考えです。先程から城南公民館の整備について意見が出ておりますが、城南公民館の位置付けの中に、子育て支援の部分を是非入れて欲しいと思います。道の駅に併設可能とすれば、その中で第4分科会の意見として反映させていただくようお願いしていきたい。

(田中会長)

第1分科会からは、城南公民館に地域自治センター的な機能を持たせたらどうかというご意見、第2分科会からは、十分余裕のある駐車場及び公園等の活用の中で、公民館を道の駅へというご意見、第4分科会からは、子育ての部分の道の駅の施設の中へという意見もございました。それぞれ関係があるわけですので、どの分野に関してでも構いませんので、ご発言をお願いします。

(西川良幸委員)

先般吉田の自治会総会の折に、自治会長から泉田保育園の移転は間もなく実現するという発言があったが、市ではどのような計画を持っているのか。

(古川地域振興政策幹)

昨年保育課長がこの協議会で、泉田保育園は検討中であることを報告させていただいた以降の動きについては、私共では把握しておりません。

(小宮山まちづくり協働課課長補佐)

現段階では確認できないので、持ち帰り確認させて頂き、次回の協議会でご報告申し上げたい。

(石黒委員)

私の聞いている範囲では、泉田保育園を新築するということは決まったが、これから委員会を立ち上げ、再度検討していくと聞いている。やはり働きかけは必要ではないかと思う。

(石黒委員)

城南公民館の早期建設には大賛成だが、道と川の駅の場所ということになると、地理的に偏ってしまい、集まるにも不便な住民も出ると予想される。各方面の意見をよく聞きして、もう少し検討する余地があるのではないかと思う。

総合病院の件は、全国的に医師不足が叫ばれている中で、新たな建設は相当困難ではないかと思われる。

道と川の駅については、相当大きな駐車場が確保できるということで、大いに期待し

ている。駐車場があり、食事ができて買い物ができる場所ができるということは、市の収益にもつながり、喜ばしいことですので、住民も協力し成功するよう期待している。

(中村委員)

病院の件だが、私の把握しているところでは、長野病院は国の経営、左岸地区の計画は全国農業共済組合で計画を検討するというので、建設は可能と聞いている。鹿教湯病院の実態を聞くと、麻酔科の先生が出てしまい機能しておらず、場所的にも不便であり、患者が減ってきている。佐久総合病院も建設の問題で、もめている状況である。

城南地域でまとめていくとするならば、この地域の公共公益施設ということで、その中に道と川の駅、城南公民館、保育園、子育て関連を含めて考えていってはどうか。

(西川朋子委員)

公民館に関して、第4分科会としては、子育て支援施設も含めた公民館を建設して欲しいという希望がある。そうすると、道と川の駅といっしょに建設という案は、環境面で疑問である。

私は産婦人科に勤務した経験があり、医者之苦労も知っているつもりです。この少子化の中で、先生が確保できないと、子どもを産もうなどという気にはならない。まず産婦人科の充実に関心を入れてほしい。

(土屋委員)

質問として、城南公民館の建設地が泉田方面だと聞いた。病院の問題についてだが、上田市で進めるのか、篠ノ井の厚生連で進めるのか。

(田中会長)

公民館の問題は、優先順位として塩田、川西、城南と言われている。塩田は今年度から始めているが、先程の話の中で、城南公民館に支所機能を持たせたらどうかという話もあり、創造館を城南公民館として使用していくのも、一つの案ではないかという意見も聞きます。いずれにしても、城南公民館の建設実現は間違いないが、この協議会がそこにどのように関わっていくか、今まで出た意見をうまく集約していきたいと思う。

病院の件だが、総合病院をこの地域へという問題については、これからも関心を持っていくべきだと思う。

(竹田委員)

城南公民館を別所線のいずれかの駅の近くに建てていただければ、いろいろな面で活用できると思う。これからは、車の時代ではないと言われているし、駅周辺の活性化にもつながるのではないかと。

総合病院があれば非常にありがたいが、建設したが、存続できないというようなところもあり、慎重に進めるべきと思う。

(中澤副会長)

昨年城南自治連、城下自治連に関わった者として、現在までの動きをお話させていただきたい。

自治会は、市へ陳情・要望を具体的に提出して、回答をいただく。先程から城南公民館の話は自治会の中でも、建設促進委員会を組織し動いているし、左岸病院も委員会を結成して要望している。城南公民館に関しては、いつ実施するという回答がもらえないのが実情である。病院の関係も、3年程陳情を続けてきたが、医療改革が問題化している中で、19年度は陳情を取り止めた。

今日はこの協議会の中で、非常に貴重な意見が出されているが、どれを優先的に、どの辺を出していくか、全部意見書として出したいところだが、果たしてそういう方法がいいのか、そのあたりをしっかりと論議して方法を決めていきたい。

(小宮山まちづくり協働課課長補佐)

事務局から確認させていただきたいのですが、第2分科会の報告書の中に、「道と川の駅」と「歴史的・地域的資源の活用」となっていますが、今回の報告書の中で「歴史的・地域的資源の活用」の部分は、どの程度見えてきているのかということ、3ページ目の半過公民館の件と城南公民館との絡みは、分科会の中でご議論があったのか確認させていただきたい。

(竹内秀夫委員)

第2分科会としては、人数的、時間的に制限があり、現在は道と川の駅の議論のみで、これから歴史面に移ろうという段階にある。

半過公民館との兼ね合いですが、最初は城南公民館との複合施設ではなく、半過公民館との複合施設という発想だったが、規模からして半過公民館とではそれほど大きなものにならず、もう少し大きなものでないと、防災施設として成り立たないという話が出まして、ならば城南公民館との複合施設の方がいいのではないかという話が出てきたという経緯である。

(田中会長)

道の駅については、商工振興会等への声掛けはどうなっているか。地元商工振興会組織に声を掛けるというのも一つの方法かと思う。

(竹内秀夫委員)

それは相手方が先に動いているので、むしろこちらの方から入れてもらって、一緒に協議を進めるといった感じになるかと思う。地域協議会の性質上、他の団体と一緒に動けるのかという疑問もあるが、とにかく他の団体ときちんと話をしていかないと、具体的なものは進まないことは承知している。

(竹内順一委員)

市から説明があったと思うが、道の駅に関して国が進めるのは、防災施設を中心とした必要最小限のほんの小さな建物であり、市に与えられる場所も小さい。イベントや集まりはできても、強い要望がない限り、集会施設など大きな箱物はまず無理である。実際には、商業施設が並ぶとか、そんな大きなものには恐らくならないと思う。ですからソフト面で、自然、歴史等を活かして、商業施設という概念を脱却し、自然に触れると

いう視点で考えをまとめていった方がいいと思う。

(宮崎委員)

道の駅については、ある程度の規模の販売、商業施設のイメージがあるが、半過の場所は、それほど人が来るのかどうか疑問である。やはり公民館、まちづくりの拠点としての機能を持つような施設ができた時に、逆に農産物売り場が利用できるという話もあるのかなと思う。場所として外れになってしまうが、子育てということからすれば、近くに山があり、川があるという面では、環境的にはいいと思う。

(小宮山まちづくり協働課課長補佐)

それでは午前中でお帰りになる委員さんもいらっしゃるので、ここで資料の説明をさせていただきます。

- 都市計画マスタープラン資料 説明 -
「地域別構想 将来像と基本目標のたたき案について」

休憩

(田中会長)

再開致します。午前中 4 つの分科会の発表と、それに対する質疑応答がございました。4 分科会の発表に対する意見交換は終了と致します。まちづくり方針の実現に向けて、2 月末に、市長宛に意見書を提出したいわけでございます。その項目について、どのように絞り込んでいくかについて、協議をお願いしたいと思います。参考のために、他の協議会の動向を事務局から説明していただければと思います。

(古川地域振興政策幹)

今まで出ている意見書ですが、武石、真田、塩田地域協議会は、既に 1 項目ずつ提出しております。2 月に丸子、旧市内においては中央が 1 項目、西部が 1 項目か 2 項目で提出予定というような動きでございます。豊殿、川西におきましては、検討中でありまして、もしかしたら次年度へ送るといったような動きです。

(田中会長)

今報告をいただいたわけですが、武石、真田、塩田は 1 項目、西部は私共と同じように分科会を持っておりますので、複数になるだろうと聞いております。我々城南地域協議会とすれば、先程議論したことをどのように絞り込んでいけばいいかという議論かと思っております。その辺のことについて、ご意見をお聞きしたいと思っております。

一つは私共の地域とすれば、大きく公民館の問題が具体的に議論されております。この地域が、平成 9 年から積み重ねてきた部分でございますから、当然これを第一優先に

進めていくことになるだろうと思います。しかし、第 1 分科会の内容について、第 2 分科会の道の駅の防災施設等の中に城南公民館機能を、というような関連したお考えがあるという発表がありました。このあたりをうまく連動させるようなことが出てくるのかなと思いますが、私共の地域としては、4 つそれぞれ提出するのか、あるいは 2 つでいくのか、あるいは 1 つでいくのか、場合によっては次期という選択肢もあるかと思いますが、ご意見をお出しいただきたいと思います。

(中村委員)

私は、平成 16 年から城南公民館新築の話に関わってきた。地域の活性化の拠点があることが、大変重要であります。先程から皆さんの意見を聞いている中で、やはり城南公民館を中心とした子育て支援から始まり、お年寄りの活動までできるようなことを考えると、城南公民館の新築を是非お願いしたい。更に道と川の駅は、活性化に絶対になくはないものと考え、やはり 1 項目ではなく、まず第一に城南公民館の建設、それから 2 項目に道と川の駅について意見書を提出してはどうかと思います。

(田中会長)

今 2 項目という具体的な提案がありました。他にご意見ございますか。

(竹内秀夫委員)

既に道と川の駅ができることは決まっています、再来年くらいには完成するという話の中で、それを整備するというのを、今更城南地域協議会から出すことでもないのかなと思う。城南公民館新築については、複合施設という方向で、道と川の駅の場所も条件が整いつつあり、いいかなということで提案をさせていただいた。単独で道と川の駅というのは、どうかなと思ったところである。

(宮崎委員)

私は第 4 分科会ですので、泉田保育園の新築を一番に推したいと思う。それとも一つ、城南公民館建設の 2 項目でお願いしたい。

城南公民館に関しては、先程竹田委員からお話があった駅に近い場所ということも含め、場所についても協議して意見を出していけばいいかなと思う。東京や長野市などは、公民館は駅に隣接しており、そうすると別所線も有効利用できるし、色々考え方があると思う。そういうことも含めて意見書として出せればと思います。

(田中会長)

第 1 分科会の城南公民館建設と第 2 分科会の道の駅の中のソフトの部分でという話でしたが、有機的に結合させれば、一つに括れるかと思う。

第 3 分科会に関しては、別所線と限界集落についてです。この地域には、須川と半過地区があります。須川周辺には、棚田、湖水があり、林道がリサーチパークへ通じている部分があります。市長が観光産業ということを盛んに言っているが、その関連の中にこの部分が上手にかむのではないかというのが、共通した認識であります。だとすれば、自然豊かな部分をどのように観光産業に連動させていくかという部分があるような気が

します。

また、第4分科会は、泉田保育園の早期建設ということであります。

4つの分科会のそれぞれ思いが、反映しあえば、非常に良いと思うところである。

(竹内順一委員)

まず城南公民館は早急な課題であり、我々の意見を取り入れ建築していただければ、子ども達の場所、自然、歴史、観光を背景にしたものができると思うので、そういう形でまとめていただければと思う。

病院関係は、次期の方々をお願いするなり、今のところは待ってもいいのではないかなと思う。それと上田交通の問題だが、実際沿線の方にとってはものすごく便利だが、沿線から外れている方にすれば、もっと他の意見があると思う。市から2億、3億補助金を補てんしている現在、この時代にそれを表立ってやるよりは、もう少し待った方がいいと思う。

(木内委員)

私もやはり城南公民館を一番としたい。今日の資料の中にマスタープランの資料があり、その中に三つあるが、やはり千曲川を生かすという文章の方がいいのかなと思うが、須川という文字がどこにも無い。別所線については、市でも3億のお金を出しており、市民の視線はそちらに向いているので、できれば須川、小牧山、半過、岩鼻など原風景が残るとい言葉を入れ、目を向けていただけたらと思う。

(石坂委員)

私もまず城南公民館という意見に賛成だが、建て直すことは決まっていますが、具体的な実施年度、順番など計画の具体的な回答が欲しいということ意見を意見書に記載したらどうか。それと泉田保育園についても、意見書として提出していきたいと思う。

(石黒委員)

まずは城南公民館の新築が最優先だと思う。城南地域に住んでいる人の声を吸い上げて、皆が望むようなものを建設していただくというのが最優先である。次に泉田保育園の移転新築を希望している。働くお母さんが増えており、0歳児から保育さんが子どもを育てる時代になってきており、小泉と泉田保育園は園長先生が兼務され忙しく、川辺、小泉、泉田保育園がそれぞれ円滑に運営していけるような状況を作っていただきたい。

マスタープランの一番最後に、「別所線など公共交通を利用しながら」とあるが、別所線を利用できるのは城南地区の半数位であり、できれば「別所線ほか公共交通機関」と書いていただけたらと思う。

(土屋委員)

何といたっても、城南公民館の新築が一番の課題であり、どうせ進めるのであれば、多目的に皆が使える建物にしていただくことで、早く話を進めていったほうがいいのではないかなと思う。

(中村委員)

保育園の問題については、私共もわかっているつもりだが、泉田保育園は恐らくできると思う。私はやはり城南公民館を核として要望していきたい。

(西川朋子委員)

城南公民館については賛成であり、地域住民の要望をまず聞いて充実を図るということを前提に進めていってもらいたい。

別所線と公民館の抱き合わせの話が出たが、別所線のコースも限られているので、駐車場等の充実も考えてもらいたい。

泉田保育園に関しては、具体的な着工日をすぐにでも聞きたいという気持ちはある。

(西川良幸委員)

この協議会で一番に取り組まなければいけないのは、城南公民館の移転を含めた道の駅周辺の整備、活性化だと思う。それによって、半過の岩鼻や過疎で苦しむ上半過、下半過の活性化にもつながると思う。

保育園の移転については、いつごろ実施するのか、確約を強く求めていく意見書でいいのではないかと思う。

(宮崎委員)

私は、先程申し上げたとおりです。田中会長の観光の面もいいかなと思っている。

(中澤副会長)

メンバーは変わっても、地域協議会は続いていくという背景を鑑みると、せいぜい2つくらいに絞ったらどうかと思う。いつまでに実施していただけるのかという要望は、地域の要望に任せればいい。内容について書いたらいいと思う。城南地域は人口が増え、学校も問題になっている。行政も検討していることだし、これとこれは何とか早く進めて欲しいというような形でいいのではないかと思う。

公民館の拠点となる問題とか、道と川の駅、市長の言う観光産業、そのようなところに対して、協議会としてこんなビジョンでどうでしょう、という提言をしてはどうかと思います。

(田中会長)

皆さんの意見をお聞きした中で、大きい項目とすれば2項目ということで考えた場合、1つは間違いなく、城南公民館の新築と思われる。もう1つは、保育園という意見が出た。一応2項目で既決という形で、今後のスケジュールに移ります。

(古川地域振興政策幹)

今回は2月15日で、この日に内容を決定し、会長名で市長に意見書を提出します。3月に回答書が戻ってきます。3月は、13日の開催でお願い致します。

2月15日には、ある程度まとめた意見書を作成し、それをその日に皆さんでもんでいただくというスケジュールにしませんと、日程的に間に合いませんのでお願いいたします。

4 その他

(古川地域振興政策幹)

都市計画マスタープランの締め切りは、1月30日ということをお願いします。次回はマスタープランの最終協議と、意見書の案の協議ということをお願いします。

(田中会長)

それでは、以上をもちまして本日の協議会を終了いたします。ご苦労さまでした。